

令和2年度第1回印西市総合計画審議会会議 会議録

- 1 開催日時 令和2年6月26日（金）午前10時00分～午前11時10分
- 2 開催場所 印西市役所 別館1階 農業委員会会議室
- 3 出席者 吉村彰 会長、篠田道雄 委員、柴崎達夫 委員、五十嵐新一 委員
吉野康夫 委員、海老原稔 委員、青柳和江 委員、菊地謙治 委員
熊谷公 委員、田波英俊 委員、高橋定一 委員、大竹たまい 委員
- 4 欠席者 青木和浩 委員、山本昭信 委員、安達卓俊 委員
- 5 事務局 企画政策課：高平課長、海老原係長、中島主査、大三川主査
- 6 傍聴者 4名
- 7 議 事 (1) 基本構想（素案）・序論（素案）のパブリックコメントの結果について
(2) 答申の検討について
- 8 会議録 要点筆記（議事について要点を筆記しています。）

【議 事】

吉村会長： 議事（1）基本構想（素案）・序論（素案）のパブリックコメントの結果について、事務局より説明願います。

事務局： 資料に基づき説明

吉村会長： 事務局の説明が終わりました。議事（1）についてご意見ご質問を伺います。

吉村会長： 以前と比較して、今回のパブリックコメントの件数はどうでしょうか。

事務局： 市民説明会を実施できなかったこともあり、前回と比較すると多少件数は減りましたが、意見の量としては少なくないと思われれます。ただ様々な部署でパブリックコメントは行われますが、やはり関心が高いものは多くの意見が出されます。

海老原委員： 政策というとなんか誰かがやってくれるという感じがしますが、主体性や自らというのがないと政策も生きてこないし、感染症なんかは行政が一生懸命やっても若い人が自らというのがないと収まっていけないと思います。その自らというのが全体的にどう表現されていますか。

事務局： 今回の新型コロナウイルス関連でも行政ができる範囲というのは限界があると痛感したところではありますが、政策の中で主体性が示されている部分といいますと、政策1の安心・安全において、市民、各種団体、関係機関、行政が協力・連携するという形でそれぞれの役割分担に基づいて行うとさせていただいております。また、政策5の住民自治・協働の分野においても、市民と行政が協力してそれぞれの役割において進めていくというものになっております。

大竹委員： 意見ではないのですが感想という形で、政策2については本当に素晴らしいと思います。特に印西市は昔からの伝統文化が育まれて現在にきていると思います。ここにも書いてありますが、今後子どもたちが成長していく時に、これらの伝統文化を子どもたちに教えていっていただくと、より心豊かになるのかなと思います。それに合わせて地域の方々の連携が大事であり、社会教育の中で子どもたちや若い世代と地域の方々などたくさんの方が連携していくと、より一層政策2の取り組みが大きくなるのかなと思っています。ですので、ぜひここに記載されている取り組みを実行していただいて、印西の子どもたちがより一層心豊かに成長してくれることを願っています。

事務局： ただいまの大竹委員のご意見に関する具体的施策につきましては、今後作成していく基本計画の中でお示ししていくこととなりますが、基本計画の策定にあたっては、パブリックコメントの内容を含めて十分留意して参りたいと考えております。

熊谷委員： 政策4の公共交通機関の中で、高齢化による交通手段がクローズアップされていますが、市民アンケートや中学生会議の内容、またパブリックコメントの順天堂大学の学生の意見でもあり、平賀学園台

から千葉ニュータウンへの行き方として、今は印旛日医大まで来てそこから高い電車代を払って行く方法しかない。そういった若い世代のニーズとしても高く、住みたくない理由の一番としてもバスや電車などの公共交通機関の利用が不便であるところが出ています。そういう意味でも高齢化だけで済ませるのではなく、市民のニーズを政策の中に反映させて示したほうがよいのではないのでしょうか。

事務局： 基本計画の施策において、高齢者だけではない全体の利便性をより強く高められるものを、作成していきたいと考えています。

熊谷委員： 考えていることと、ここに載せることとは、アピールで違ってくると思うのですが。

事務局： 基本構想7ページの政策4の6行目でまず、「利便性の高い交通ネットワークが望まれています。」と記載し、続く文において、「このため経済の活性化、暮らしの利便性・安全性のさらなる向上に向け、公共交通及び市街地の整備を進め、快適で機能性の高いまちをつくります。」とさせていただいておりますので、この部分で今後施策へ反映させていきたいと思えます。

吉村会長： 他に何かご意見ありますか。基本構想は理念ですので、先ほどの交通なども具体的な施策は基本計画や実施計画で計画していくのであると思いますので、そもそも理念が抜けているということでありましたら、お願いします。

吉村会長： 今回のコロナは今まで経験したことがないものであり、注意という意味では追加したことはよいのかなと思います。実感としては、行政サービスを含めて様々なサービスが人と人の関係で成り立っていますが、その関係が切られた時にどうやってサービスを継続していくのか重要な問題になってくるのではないかと思います。また、今後日本の財政がどうなっていくのが心配であります。そういった大変難しい時期に基本構想を作るということで、何か意見等いかかでしょうか。

高橋委員： 今回まとめられた内容は比較的よくできているのではないかと思います。先ほど吉村会長からもお話があったように、コロナの件も入れられていることは妥当だと思います。1点だけ、財政の指標についてですが、序論13ページの最後に、財政構造の弾力性は比較的高いといえます、と記載されており、現状ではそうだと思います。しかし、このコロナの影響で財政支出が増大し、今後の事態についても不透明なこともありますので、現時点では記載しようがないと思いますが、十分注視していただけたらと思います。

事務局： 高橋委員のお話のとおり、この先の状況については不透明であり、印西市として今できる支援をとということで予算の補正も行いました。今後の状況を注視し、必要な部分については今後の基本計画・実施計画で対応していきたいと思います。

吉村会長： パブリックコメントで出された意見の取扱いのうち、参考とするものについては今後どのようにするのでしょうか。

事務局： 基本構想は大きな指針や方向性となるようなものであるため、参考とするものとされた具体的内容については、今後の基本計画や実施計画の策定において対応していきたいと思います。

吉村会長： 他にありませんか。無いようでしたら、議事（1）はこれで終了とさせていただきます。

吉村会長： それでは議事（2）答申の検討について、事務局より説明願います。

事務局： 資料に基づき説明

吉村会長： 今回、答申の政策がはっきり出ているのはよいと思います。ただ、前回の答申にあった、目標・成果の公表や評価といったものがないようです。

柴崎委員： 政策4では施設の老朽化対策だけでなく、インフラや施設の整備がまだまだ足りないと思うので、その文言を入れていただければと思います。

事務局： 吉村会長・柴崎委員のご意見を加えさせていただきまして、作成したいと思います。

吉村会長： 公表・評価の文言を記載する位置については、政策の中ではなく上の答申のところがよいのかなと思うのですが、いかかでしょう。

事務局： 答申の3つめに会長のご意見を反映した項目を追加し、案を作成いたします。

吉村会長： 今回みたいに項目にして対策しますとしたほうがわかりやすくてよいですかね。皆さんいかがでしょうか。

高橋委員： 先ほど熊谷委員から出た、交通移動手段で高齢者だけではないという意見がありましたが、この答申案の政策4の(2)では高齢化の進展に伴う移動手段の確保、と限定的に表現されているので、高齢者の後に等を追加してはどうでしょうか。

事務局： 政策4の(2)では高齢化の進行としていますが、(3)で利便性向上のための交通ネットワークの構築によって、全体的な対応とさせていただいております。

高橋委員： わかりました。

熊谷委員： 序論で、市民会議でも中学生会議でも若手職員会議でも利用者の負担が少ない公共交通との意見が出されているが、どのように加味しているのでしょうか。

事務局：事務局の答申のたたき台としては、政策4の（3）の利便性の中に加味して作成しているものですが、利用者の負担が少なく利便性が高い、という表現に答申案を修正したいと思います。

吉村会長：よろしいでしょうか。

熊谷委員：はい。

吉村会長：政策5の（2）の行政サービスの提供のところで、今後コロナ対策に関しての行政サービスの在り方を問われることになると思われるので、もう少し今回のような場合の対策を含めた行政サービスの在り方が必要なのかなと思いますが、いかかでしょうか。

事務局：新しい生活様式の推奨もされておりますので、それに対応した行政サービスの文言を追加したいと思います。

吉村会長：他にご意見はいかがでしょうか。

事務局：今までいただいたご意見を反映させた答申案を事務局で作成しまして、皆さんにお送りしてまたご意見をいただきたいと考えております。

吉村会長：スケジュール的には今月いっぱいから7月上旬くらいまでですか。

事務局：7月中旬くらいまでに皆さんからご意見をいただきたいと思います。

吉村会長：他にありませんか。ないようでしたら、議事（2）は以上とさせていただきます。

それでは、本日の議事はこれで終了とさせていただきます。事務局に進行をお返しいたします。

事務局：それでは以上をもちまして、令和2年度第1回印西市総合計画審議会を終了いたします。長時間にわたりありがとうございました。

会議資料

会議次第

- 1 令和2年度第1回印西市総合計画審議会会議次第
- 2 資料1 印西市総合計画基本構想（素案）市民意見公募手続（パブリックコメント）の結果
- 3 資料2 序論（素案）
- 4 資料3 基本構想（素案）
- 5 資料4 印西市総合計画基本構想について（答申）
- 6 資料4参考資料 平成23年答申

令和2年度第1回印西市総合計画審議会の会議録は、事実と相違ないことを承認する。

令和2年7月16日

 委 員 田 波 英 俊

 委 員 高 橋 定 一